

# 子ども達の安全のために、周囲からホットスポットを無くそう

「原発を考える会」 090-1993-2795 ike-2795@ezweb.ne.jp

<http://genpatuwokangaerukai.jimdo.com/> [genpatuwokangaerukai@gmail.com](mailto:genpatuwokangaerukai@gmail.com)



## セシウム 137 の半減期は30年以上

2回目の計測となります。前回の計測から1カ月以上経ちますが、御覧のように、計測値に変化は見られません。減ってはいないのです。計測されている放射性物質は、セシウム 134 と 137 です。半減期の長いセシウムと、私たちは、これから永く付き合っていかなければなりません。

## ホットスポットを見つけよう

今、私たちが、一番に考えねばならないことは、子どもたちの安全を長期的に確保する方策です。最も避けねばならないのは、放射性物質が体内に入る内部被ばくです。そこで、どんな狭い範囲であっても、放射性物質の濃度が高いホットスポットを放置してはなりません。子どもたちの周りに、こうした場所は絶対あってはならないのです。

## 雨どいの下はホットスポット

放射性物質の集まりやすい場所としては、雨どいの下が最近注目されています。そこで、ある児童福祉施設で、雨水の流れを追いました。そのまま下水管に入っているのを確認して、安心しました。でも、すぐ近くの老人福祉施設では、状況が違いました。雨どいの下を計測すると0.28マイクロシーベルトでした。ほんの50cm離れた場所と比べて、ちょうど2.8倍の値を検出しています。

## 0.3 マイクロシーベルト超

私たちはその後、ある児童公園に隣接するアスファルト道路の端、雨水が排水溝に落ちる箇所の手前に、何箇所か少量の土が溜まっている所を見つけ、計測しました。針は0.3 マイクロシーベルトを少し超えています。かなり高い数値です。単純に年平均被ばく量を計算すると2.63ミリシーベルトとなります。しかし、それ以上に考えねばならないことは、子どもたちが日常的に遊んでいる場所に、こうしたホットスポットが放置されていることです。土に触れた指を口に入れることで、また、気象条件次第では風によっても、体内に入る危険が十分に考えられます。

## 住宅地の中の、放射性物質ホットスポット

こうした箇所は、ここだけでしょうか？雨で流された土やその他諸々の物が溜まっている箇所は、他には無いのでしょうか？

## 今、私たちに出来ることは？

地域の皆さんで話し合いを始めましょう。そして、自分たちで出来ることには、すぐに対処しましょう。今、スピードが求められています。また、市の担当者にご相談することも有効でしょう。計測には、私たちもお力になります。

測定日時	7/26 11-14		8/31 10-13	
	1m	10cm	1m	5cm
測定場所 / 地上				
玉川学園駅南口 (階段 角)	0.08	0.08	0.08	0.09
学園駅北口前 (花壇レンガ上)	0.14	0.15	0.12	0.20
玉川学園駅北口 (タクシー乗り場)	0.11	0.12	0.08	0.09
玉川大学 (正門入口左横)	0.10	0.11	0.09	0.11
学園1丁目信号 (レストラン前角)	0.10	0.11	0.09	0.10
玉川中央幼稚園	0.08	0.09	0.08	0.09
さくらんぼホール (入口前)	0.10	0.12	0.09	0.12
コロコロ児童館 (看板前)	0.10	0.12	0.10	0.11
なかよし公園 (TELBOX 横)	0.10	0.09	0.10	0.11
第五小学校 (正門入口)	0.09	0.10	0.09	0.11
7丁目公園 (階段)	0.08	0.10	0.09	0.10
コスモス会館前 (入口中央)	0.10	0.12	0.10	0.11
化石谷公園 (広場中央)	0.08	0.09	0.12	0.14
ユニベシオール (中央入口横)	0.13	0.14	0.12	0.14
ためき山公園 (入口門扉 外)	0.08	0.09	0.09	0.06
さくら保育園 (砂場)	前回未計測		0.10	0.12
平均	0.10	0.11	0.10	0.11
	0.10		0.10	
気象条件	29°C 曇り 南南 東の風 9m		29°C 曇り 北東 の風 2m	

計測機器は ALOKA TCS 151 計測単位は  $\mu\text{Sv/h}$